

ジュニアアスリートの健康習慣の定着化を目指した「スポーツ食育プログラム」の事業展開の検証

1. 構築したビジネスモデル

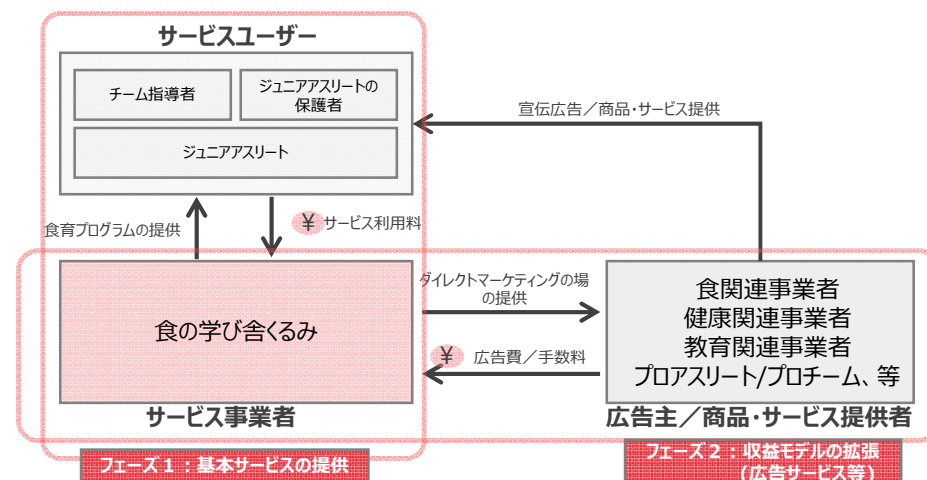
(1) 本プロジェクトに至る背景

- ジュニアアスリートは、運動に使われるエネルギーと成長に使われるエネルギーが必要であることを正しく理解し、日々のトレーニングのパフォーマンスを高め、病気や怪我を防ぎ、筋肉・内臓・骨の成長を促進するための食力と自己管理能力の醸成・習慣化が重要であるが、家庭科教育で実施される食事教育は健康維持増進を主目的としていることから、必ずしもジュニアアスリートの特徴に留意した食事教育は十分に行われていない。
- 株式会社食の学び舎くらみでは、2018年から藤枝東高校サッカー部の選手や保護者向けの「食トレプロジェクト」として、行政や地域の食事関連事業者を巻き込んだスポーツ食育を行っており、選手の自己管理能力の向上を支援し、県大会でも優勝する等チームパフォーマンスの向上にも貢献している。
- しかし、従来型の食育活動は対面形式が中心であることから、手厚いフォローは行いやすい反面、人的リソースや費用面の問題から提供範囲に限界があり、また、コロナ禍の長期化によって、食育活動そのものも十分に行えないという課題が生じていた。
- そこで、e-learning等のオンラインサービスの活用を併用することで、より多くの選手・指導者・保護者等がリーズナブルかつ便利に利用できるサービスの実現を目指して本事業への取り組みを実施した。

(2) ビジネスモデル

- 想定したビジネスモデルを右図に示す。
- サービスのメインターゲット層を、チーム指導者、ジュニアアスリート、ジュニアアスリートの保護者と設定し、これまで対面中心で実施していた食育プログラムのうち、知識学習についてはe-learning形式で提供し、学習時の疑問や日々の悩み相談等はグループ形式のオンライン質問LIVEでフォローする形をサービスの基本パターンとして設定。また、オプションサービスとして、体組成測定や食事提供サービス、パーソナルサポート等の提供も想定する。
- また、ユーザーが拡大することで、対象ユーザー層へのダイレクトマーケティングを行いたい事業者向けの広告サービス等の提供も想定する。

ビジネスモデルのイメージ図



2. トライアル実証

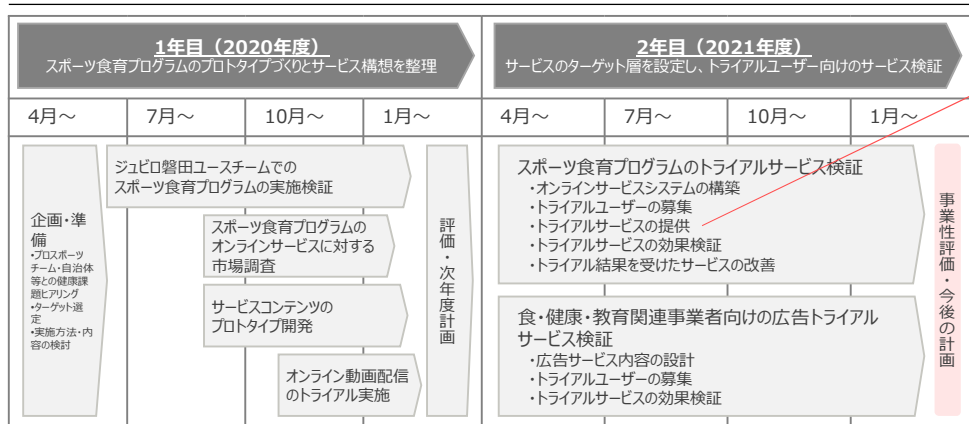
■ 実施体制：下記の体制で実施

- 代表機関（事業主体）：(株)食の学び舎ぐるみ
- 協力機関（研究）：静岡県立大学フードマネジメント研究室（事業実施に伴う実施方針・評価手法等でのアドバイス）
- 協力機関（検証トライアル）：ジュビロ磐田ユース、藤枝東高校サッカー部、藤枝東FCジュニア・ジュニアユース、藤枝東高校野球部、東海大静岡翔洋高校ラグビー部（男・女）、焼津水産高校&川根高校カヌー部、MAKOTO HASEBEサッカースクール
- 協力機関（プロスポーツチーム）：ベルテックス静岡（B3）
- 協力機関（食関連事業者）：(株)スマートアグリカルチャー磐田、(株)DHAマリンフーズ、ちきり清水商店(株)、(株)とやま農園

■ 実施期間：2020年7月～2022年3月

■ 検証内容：下記の取り組みを実施

全体の実施概要・スケジュール



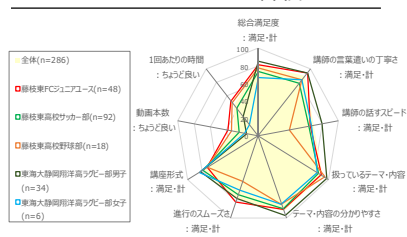
2年目のトライアルサービス実施概要・スケジュール

トライアルユーザー	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1) スポーツチームがトレーニングの一環として利用	藤枝東FCジュニアユース プログラム受講					アンケート	
	藤枝東高校サッカー部 プログラム受講					アンケート	
	藤枝東高校野球部		プログラム受講			アンケート	
	東海大静岡翔洋高ラグビー部(男子)	プログラム受講				アンケート	
	東海大静岡翔洋高ラグビー部(女子)	プログラム受講				アンケート	
	焼津水産高校カヌー部		プログラム受講(集合学習)			アンケート	
	川根高校カヌー部		プログラム受講(集合学習)			アンケート	
2) ジュニアアスリートの指導者・保護者等が利用	MAKOTO HASEBE サッカースクール保護者	プログラム受講				アンケート	
	藤枝東FCジュニアの保護者	プログラム受講				アンケート	
	上記指導者/保護者/マネージャー等	プログラム受講				アンケート	
3) 個人的に学びたい選手や保護者が利用		プログラム受講				アンケート	
4) 小・中学校の栄養教諭が学校教材として利用(県西部の栄養教諭)		プログラム受講				アンケート	
5) 大学のスポーツ栄養学の補完教材として利用(スポーツ栄養士志望の常葉大学学生)					プログラム受講	アンケート	

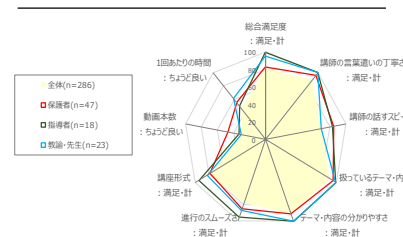
■ 検証結果（健康改善の効果、ビジネスモデルの有効性）

- 実施後のアンケート調査では、総合満足度は8割（「満足」が40%、「やや満足」が42%）という結果となった。中でも、サービス導入の意思決定に大きく関わる【指導者】【保護者】【教諭・先生】からの満足度が高い傾向となった。
- 「周囲の知り合いや友達にすすめたいか」という質問に対しても、7割が進めたい（「すすめたい」が3割、「どちらかというすすめたい」が4割）と評価しており、サービス導入の意思決定に大きく関わる【指導者】【保護者】【教諭・先生】からの推奨度はさらに高い傾向が見られたことから、本プログラムの有効性と口コミ効果での利用者の拡大が期待できる。

ジュニアアスリートの評価



保護者・指導者の評価



3. 考察

■ ビジネスモデルの改善点

トライアルユーザーからの改善要望に関するコメントを踏まえて、各項目に対する対応策を講じ、より利用しやすいサービスへの改善を進める

課題分類	要望	対応策
サービスインフラに関する要望	メールに通知がきてもあまり見ないので、もう少し手のつけやすいアプリやサイトなどを使って欲しい。	コミュニケーション手段として、 LINEを使った顧客窓口サービスを構築 。各種案内、双方向のコミュニケーションをLINE経由にすることで、利便性を向上。 LINEが導入できない方には、従来通りメールを継続。
	月毎の最終受講日を末日にしてほしいです。つい、「…あ、〇月が終わる…」と気づいてみようとすると、前日までだった…というのが何度ありました。	無料会員には最大1カ月の期限付きとするが、 有料会員には視聴期間制限は無くしていつでも視聴可とする 。
	パスワードがわからなくなり、途中から見れなくなりましたので、パスワードをメモしておくべきでした	パスワードを忘れてしまった場合の説明を追加 、ご理解頂くことで、パスワードを忘れても、早く復帰頂くようにガイドを行い、継続ご利用頂けるように対策実施予定。
コンテンツの構成に関する要望	もう少し話すスピードが速いともっと頭に入りやすいかなと感じました。	速度調整の機能の説明を追加 し、速度調整が可能で頂くことで、再生速度をご自身の好みで調整頂くようにガイドを行い、特に時間の確保が難しい方にもご利用頂けるように対策実施予定。
	受講回数がやや多く感じた。1回あたりの受講時間はちょうど良く感じた。	全11回の区分化を検討 。最初に必ず実施してほしい内容やレベルに応じた区分け方法については、今後検討
	テキストに無いスライドが動画にありましたので、補足資料として印刷が出来るとう助かります。とても良いセミナーでした。ありがとうございました。	テキストにないスライドについては、効果的と考えられる部分について、教材の資料に追加することを検討 。
コンテンツの内容に関する要望	年齢に応じた食事が、実際の献立例でいくつか示されていたら是非知りたいなと思いました。	eラーニング教材で、触れていない献立や食事量等は、 質問受付や、別途作成している献立動画等を活用し、情報提供を実施 することで対応。

■ ビジネスモデルの展開可能性と今後の取り組み

今回のトライアルサービスの検証を踏まえて、今後は下記サービスモデルでの事業展開を進めていく。

- ① チーム向けサービス：年間契約を基本としたスポーツ食育サービスの提供
- ② 個人向けサービス：SNSやオンラインサロン形式でのスポーツ食育サービスの提供

